

姫路グローバルブートキャンプ実施報告 ―他校と切磋琢磨し、世界に挑む5日間―

令和7年度（2025年度）の夏季休業期間中、8月4日（月）～8日（金）の5日間にわたり、「姫路グローバルブートキャンプ（旧：グローバルスタディーズプログラム）」を開催いたしました。

今年度より名称を新たに、会場も姫路商工会議所へと移して実施しました。本校生徒のみならず、近隣他校の生徒も数多く参加する合同プログラムへと進化を遂げ、これまで以上に多様で刺激的な学びの場となりました。

・圧倒的熱量の「オールイングリッシュ」環境

本プログラムは、海外の難関大学等から招聘した多様な国籍のグループリーダーの指導のもと、**全行程を英語のみ**で進行する集中型ワークショップです。

- **越境する学び**：他校の生徒と混合チームを組み、SDGs（持続可能な開発目標）を軸とした世界のリアルな社会課題について議論しました。
- **多角的な視点**：各リーダーの母国が抱える固有の課題に対し、異なる学校・背景を持つ仲間たちと解決策（ソリューション）を練り上げました。

・5日間の軌跡：葛藤を越えて「発信者」へ

当初は、リーダーや他校生とのコミュニケーション、そして何より英語のスピードに圧倒され、苦戦する姿も見られました。しかし、連日のグループワークを通じて「自分の考えを伝えたい」「現状を打破したい」という強い意志が芽生え、後半には会場のあちこちで熱烈なディスカッションが交わされるようになりました。最終日に行われたプレゼンテーションでは、全生徒が堂々とステージに立ち、5日間の集大成を披露しました。鋭い質疑応答にもひるむことなく、粘り強く英語で答え抜く姿は、単なる語学スキルの向上を超えた「グローバルリーダー」としての成長を感じさせるものでした。

・交流が育む「共創の精神」

学校の枠を越え、共通の目標に向かって切磋琢磨した5日間は、参加生徒にとって一生ものの財産となりました。互いに刺激し合い、高め合った経験は、今後の学校生活や進路選択においても大きな糧となるはずです。

本校では、今後も地域や企業と連携し、生徒が世界を視野に「主体的に学ぶ」機会を積極的に提供してまいります。